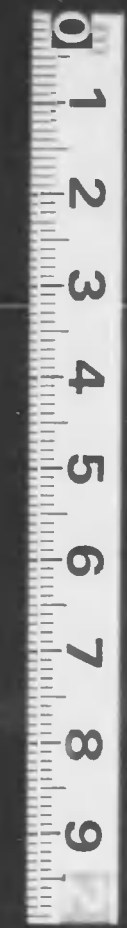


寫眞週報

情報局編輯
五月三十日・第二廿七號



野良も戦場だ
 澁紙色に陽焼した皮膚を汗に光らせて
 あら土を耕し、しこ草を抜き
 ひたすらに食糧の増産に敢闘してきた君等
 農士の努力に實る豊穰な收穫があればこそ
 大東亞戦も戦ひ抜けるのだ
 田植の季節だ、麥秋だ、また農繁期だ
 遠い宗祖から賜はった種子を
 この國土中に満たさう



★ 陸軍新鋭機大編隊 帝都訪問 ★

四月二十七日

身置き所もないインド洋

わが海軍航空部隊英二甲巡撃沈

撮影
海軍航空部隊

四月五日早朝から開始されたわが海軍部隊の雄偉無比なインド洋大作戦はインド洋上の英艦隊と最大軍事據点コロンボその他を襲撃し、イギリスの東洋における残存艦隊主力に壊滅的打撃を与へたが、この作戦において、セイロン島南方三百数十哩の洋上を全速力で逃走中の敵甲級巡洋艦「ドーゼットシャー」を発見し、必中の巨弾を浴びせ、瞬間にしてインド洋の底深く葬り去つたが、その際におけるわが海軍航空部隊の戦果を記録する記録である



ヤシトフゼード ルーオウニコ 巡甲英



直垂に上を首艦ヤシトフゼード 3
開闢する入せ入没に止る上

りたし創傷ヤシトフゼード 2
るあし上しせ没より1部後

いわて(巡甲) ヤシトフゼード 1
中命事見弾爆



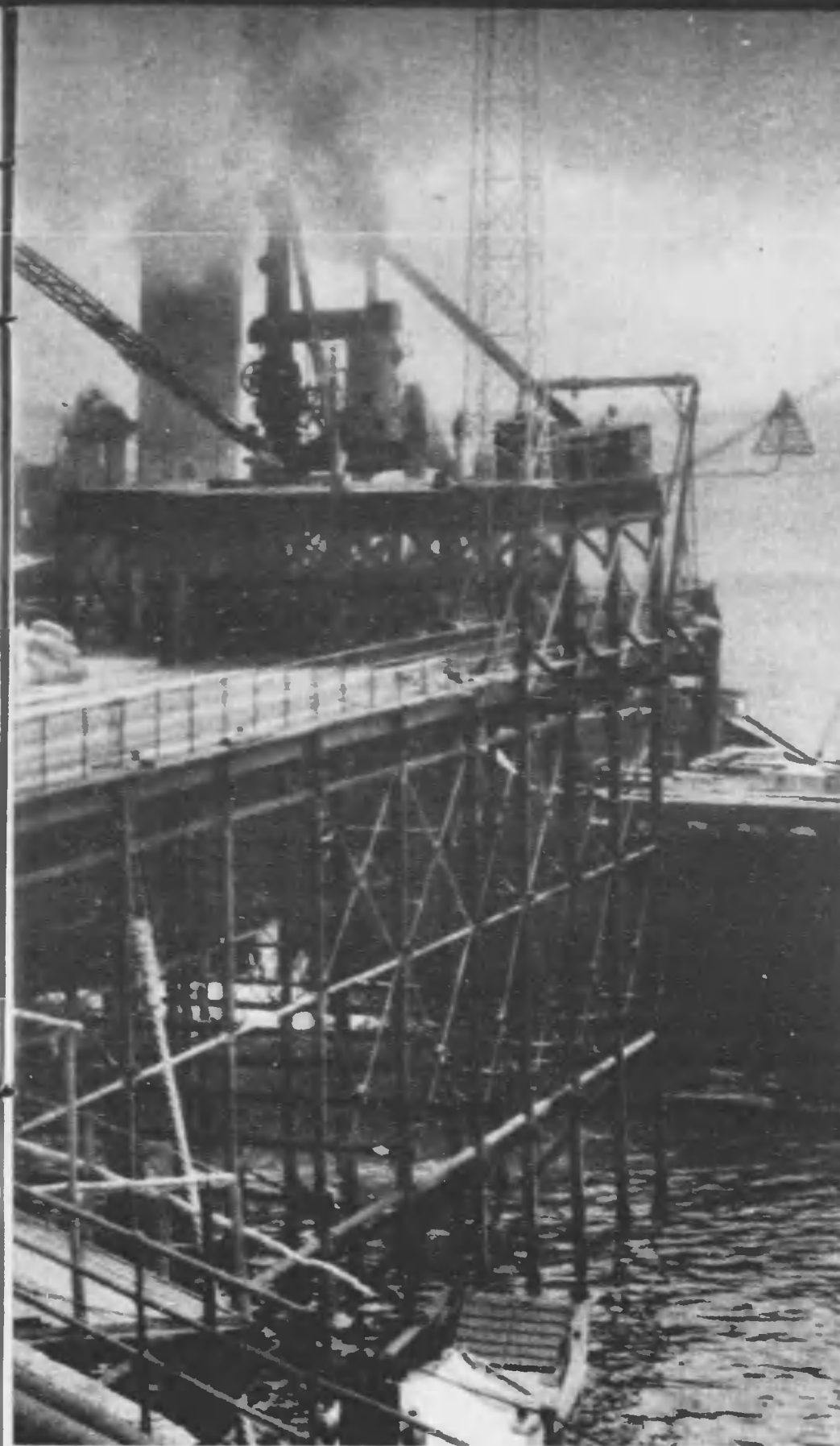
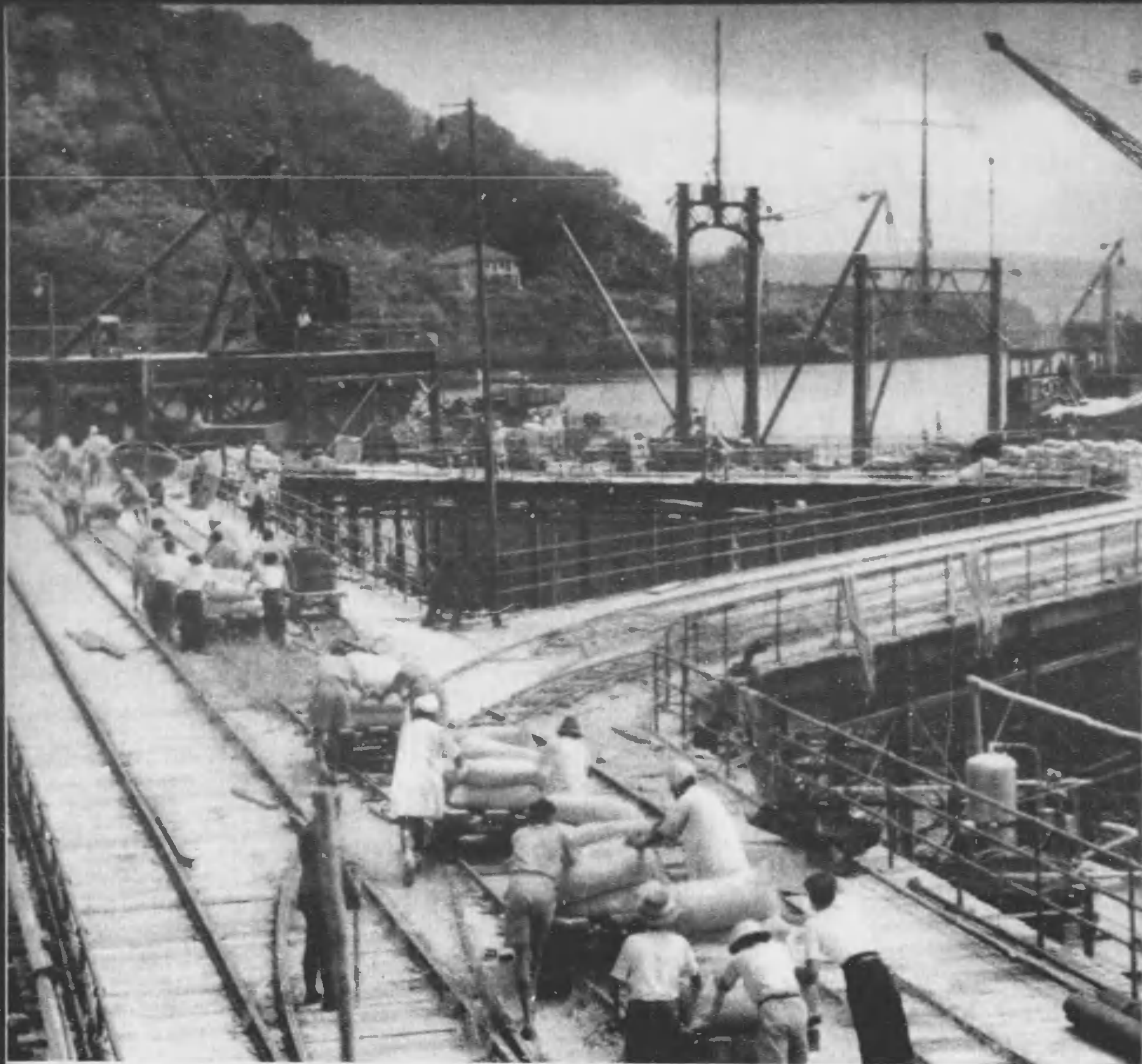
たれは敵に掃撃もく早に始開爆猛の驚海がわは英二



上向海 開闢かし没を影艦のルーオウニコ 3
物海浮と目組乗艦敵はあ見とた時

沈いつし無傾に射右ルーオウニコ 2
さすしせ没

艦主生を降故に機舵(巡甲)ルーオウニコ 1
たし正停に還り失る面白



金島ラニ金島

クリスマス島占領

軍海軍艦に島の内島

クリスマス島の略称品ではなからうが、その名もクリスマス島といふ英領の一小島が、わが海軍艦艇の砲撃にたまりもなく全島に白旗を掲げて降伏したのは去る三月の下旬であつた。

ジャバ島の南方にボツンとゴマ粒位の大きさで地図に描かれてゐるこの島は昭南島の約四分の一の大きさがあり、全島は石灰岩からできてゐる。クリスマス島が小粒ながら世間の注目を浴びてゐるのは、實は肥料としてなくてはならない燐礦石（燐酸肥料の原料）が無盡蔵に採取されるからである。

上陸したわが海軍部隊は早くもこの島の価値を認め、島の住民たちの協力を得て、肥料の少い内地へ少しでも良質の燐酸肥料を贈らうと燐礦石の採掘を始め、内地向け積出しに大意である。

クリスマス島の略称品ではなからうが、その名もクリスマス島といふ英領の一小島が、わが海軍艦艇の砲撃にたまりもなく全島に白旗を掲げて降伏したのは去る三月の下旬であつた。



〇〇隊長は在島の中国人、インド人、インドネシア人に大東亞戦争の真意を説く

撮影 佐伯海軍報道班員



〇全島に露頭してゐる燐礦地帯。あるぞ肥料が内地にも聞えと高聲を叫ぶ上陸部隊

ある！ある！燐礦の山





大東亞戦争日誌	
三月	二十六日 ●午前九時四十分、ビルマ方面作戦軍はトンギーを完全占領
四月	二日 ●午前二時三十分、ビルマ方面作戦軍はイラワジ河畔の要地アロームを完全占領
十九日	●海軍は三月三十一日モルッカ諸島と西部ニューギニア北半の攻略戦を開始し、本日同方面の諸要地を完全占領。この方面における戦果、俘虜百二十四、商船品、銃器七百十五挺、弾薬六万八千三百、内火艇五隻その他がソリン、黄麻、棉花多数
二十日	●海軍は四月一日以後ポートモレスビー、およびポートダーウィンを對する航空攻撃と、味方基地に飛来せる敵機との交戦により本日までに敵機六十六機を撃墜、一機を撃破。この間我方の損失六機
二十一日	●支那派遣陸軍は十九日東部支那一帯の敵航空基地に對し連綿的に攻撃を加へ、衢州、麗水、玉山、吉安飛行場の格納庫、滑走路、附屬施設その他集積資材燃料を焼燬または炎上
二十三日	●支那方面海軍は陸軍と緊密なる共同作戦の下に二十一、二十二、二十三日と衢州、麗水、玉山の敵飛行場に反復攻撃を敢行、焼燬なる地上砲火を同じつつ飛行格納庫を炎上または破壊
五月	一日 ●ビルマ方面陸軍は三月下旬以降、英、重慶聯合軍を隨所に撃滅しつつあつたが、本日ビルマの要衝マンダレーを攻略し、その軍事拠点を完全に破壊せしむ

敵のうち出してくる弾丸が近く遠く水しぶきをあげる。機銃の掩護下、架橋を急ぐわが兵隊



英蔭合作軍の要衝マンダレーはつひにわが陸軍部隊の猛攻によつて陥落した。ラングーン突入以来、五十三日目である
即ち、ラングーン失陥以来、敵は蒋介石直系英蔭下の機械化部隊を總動員して北ビルマの防衛に狂奔しつゝあつたが、われはこれに對し三月下旬果敢な攻撃の行動を開始し、百三十餘度の炎熱を同じ、悪疫を克服して隨所に敵を打ち破りつゝ、その最大の據點マンダレーを攻略、五月一



撮影 日本映画社



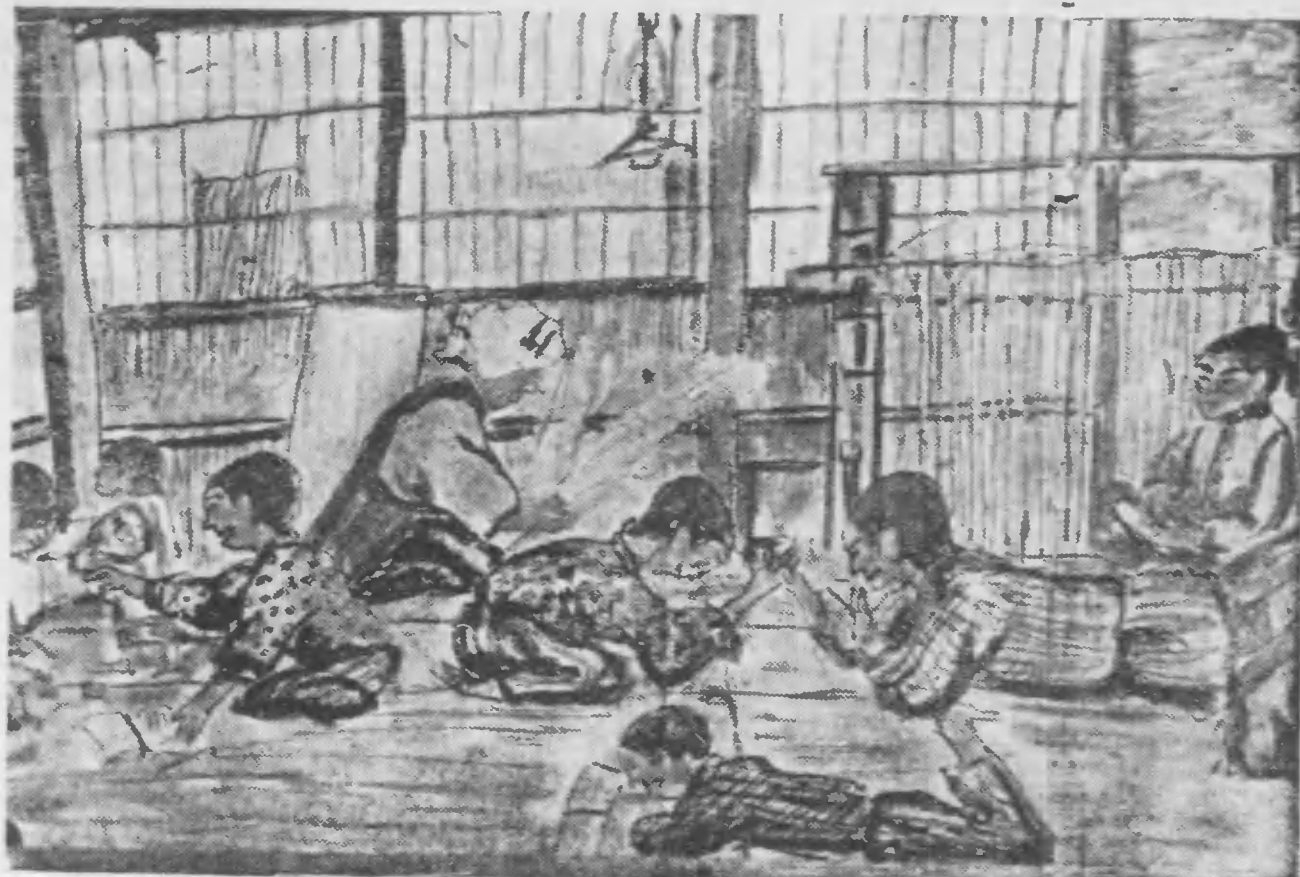
酷熱の征野七百キロ、一路マンダレーへ。橋梁を渡つて前進するわが部隊



立ッテ センセイニ オコタヘ スルトコロ

名古屋市立市立西郷南校一年生

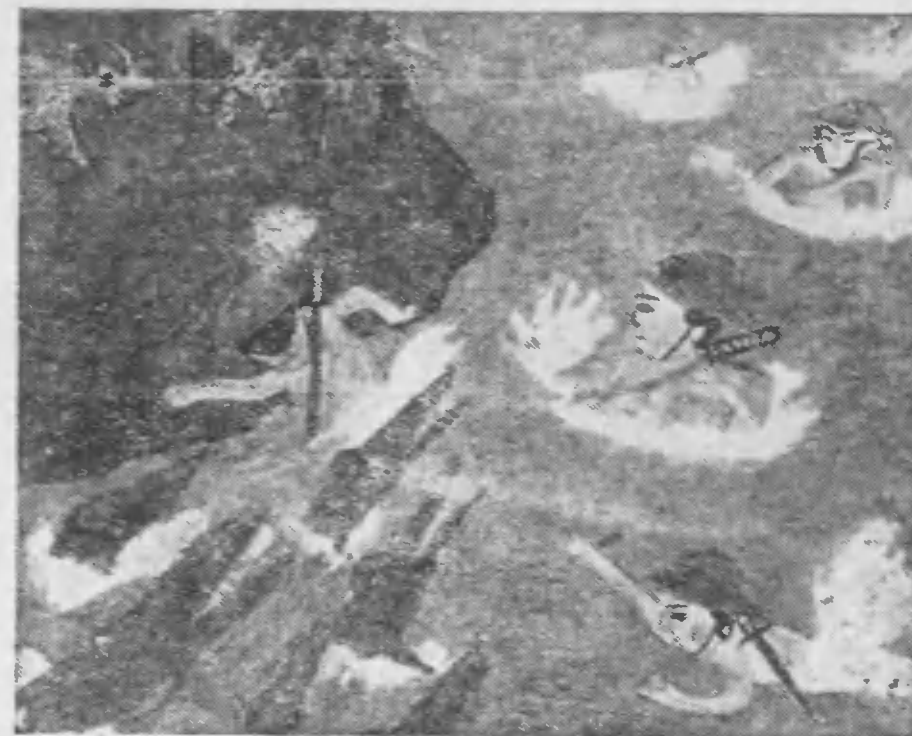
加藤佳子



冬の夜

内形西田田川郡大森村国民学校三年生

吉住保



教橋板

生年四校學民國見若區電本市政東

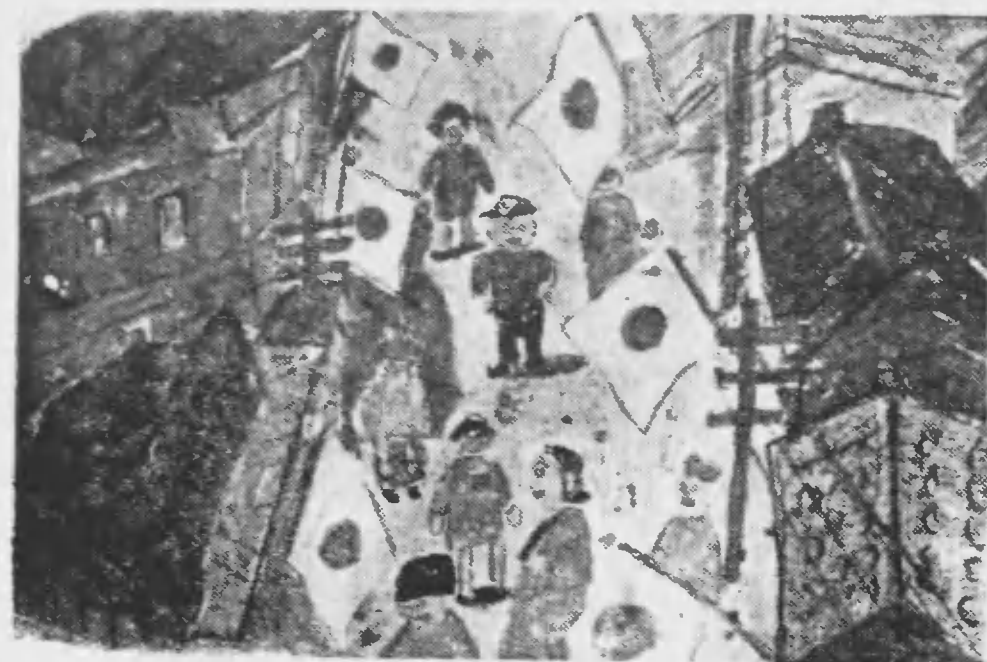
陸上前敵



雄秀出上

生年一校學民國口ノ江市知高

んさ隊兵



國旗の出である町

平岡市立土川國民學校三年生

落合正甫



出征兵を語る

名古屋市立西郷南校三年生

岩田三子

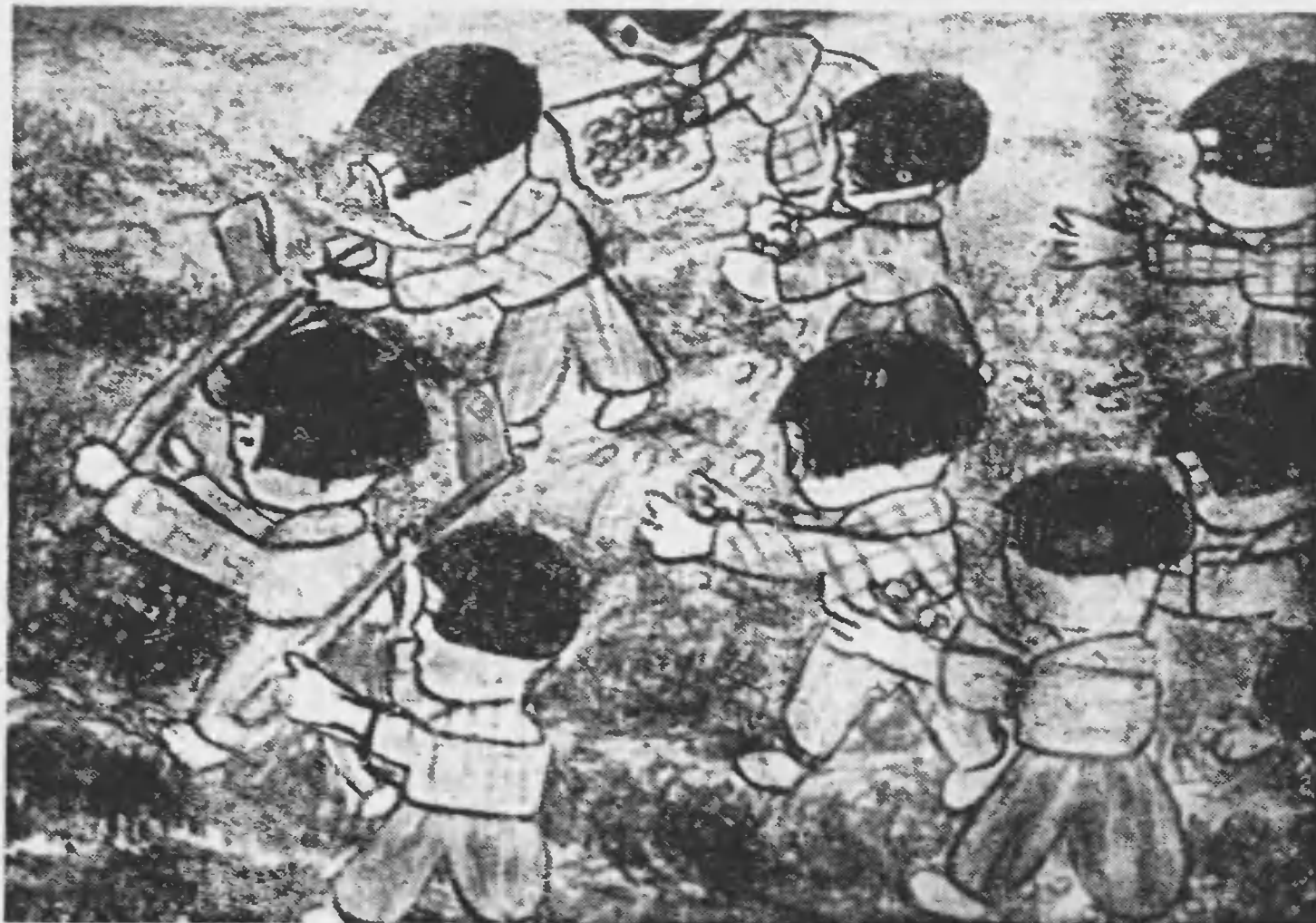
ンガ隊兵 ステ絵タイカガラグホ

らかキガハエ問慰線前の徒生校學民國全 集募館物博信越

子久西葛

生年二校學民國村小村川三西郡源佐縣高新

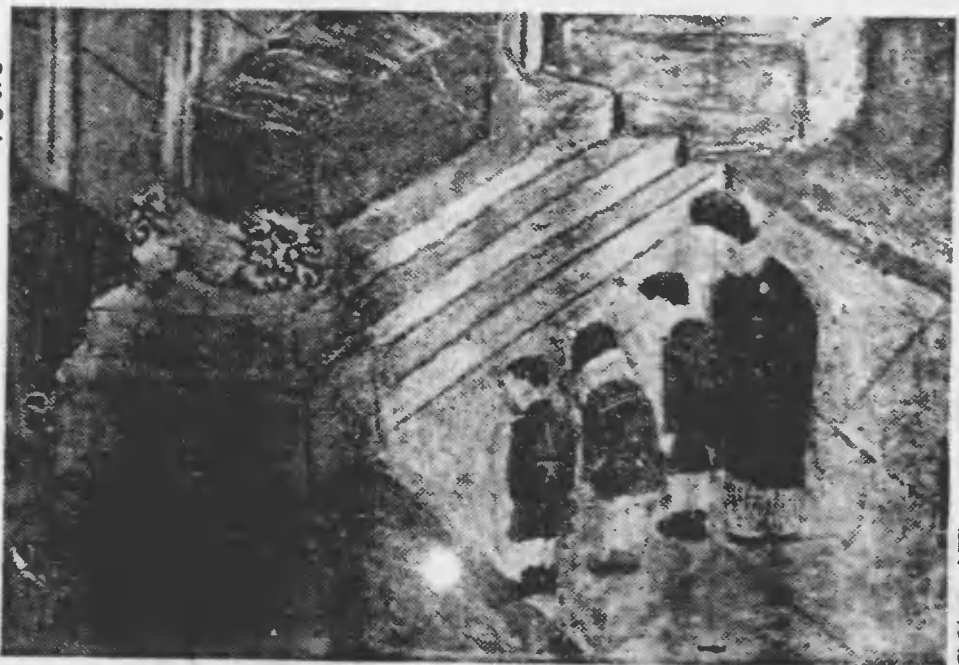
きまはその日の開閉



もちつき

岡井縣岡井郡江村中川國民學校三年生

土矢英美子



大昭和第一機こぞつて戦勝祈願

東京市立東區民國國民學校五年生

西宮多津枝



シロコシにおける米の出廻りは極めて活発だ。運河には数日のジャンクがならび、ジャンクから倉庫へ華僑がせせと運搬を運んでゐる。

六十数ヶ所の精米所をめぐりその手中に収めて華僑が米を運んでゐる。



サイゴン米の盛出

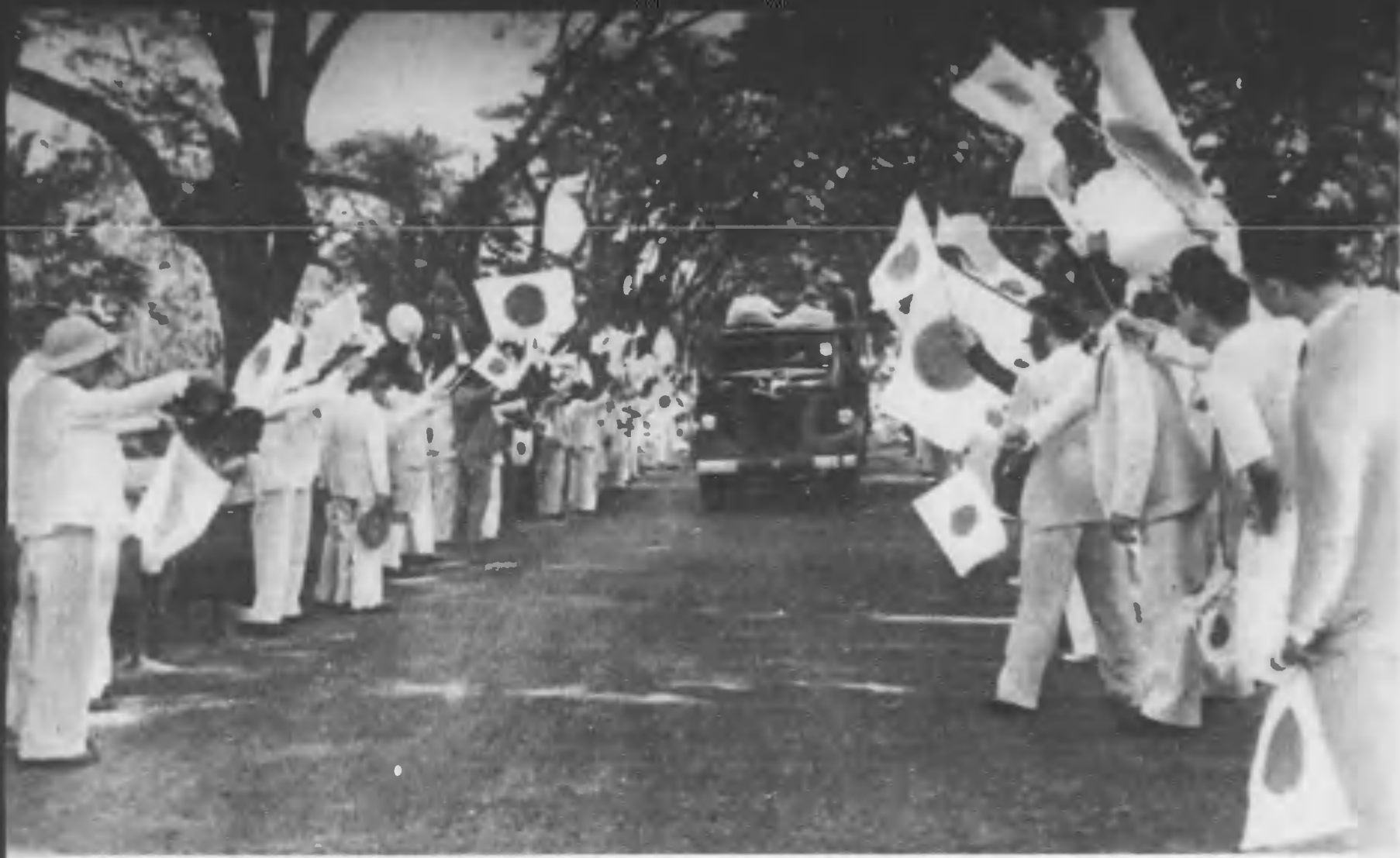


米を運ぶジャンクの船主。華僑たちはどこでも米を求めて行商となつて手を伸ばし米を集めてくるのである。

米の國、佛印はいまサイゴン米が川盛だ。メコン河の流域、交趾支那の三角地帯は、ソ連のウクライナにも比ぶることのできる佛印の穀倉だ。その耕地面積は約二百二十万歩、佛印全土の年産額を七百万トンとみて、その大半は北部のトンキンとこの交趾支那から産出される。しかもトンキン地方は人口が稠密で、米は悉く同地方の消費にあてられるから、米の輸出は殆んど交趾支那に集中され、その年額は百五十万トンといはれる。これが有名なサイゴン米だ。



シロコシには三十万キロの穀を貯蔵できる中央倉庫をはじめ、大川の倉庫が立ち並び、穀がたまり、空の倉庫に山と積まれてゐる。



マレー半島の米穀減産の救済を南タイを結切つたとき、タイ國人たちは日章旗の中に埋もれて慶祝の一齊射撃を浴びせた。



バンコクのスマ・スナタ女学校生徒(右)と若きタイ人(左)とを撮る日本の機嫌を和らげる。



新らしいアジアの革命を浴びて、若き世代の胸中には新秩序の構想が燃え、バンコク、チュロンコン大

老いも若きも洗刺し近代タイの建設へ

駐タイ特命全權大使 坪上貞二



タイ國は、ご存知の通り、十年前に立憲革命を起し、爾來タイ人のタイ國をめざして進んで来りてゐる。立憲革命當時の指導者は、いま、日タイ攻守同盟の慶祝使節として來朝中のビヤ・パホン中將であるが、現在、同國の總理であるビボン氏は、當時副將格として活躍された。

ビヤ・パホン内閣の後を承けて、昭和十三年の暮にビボン内閣が出現したのであるが、その翌年の昭和十四年六月二十四日にビボン内閣は國名を『タイ』と改稱した。それ以來、タイでは『ラタニウム』運動と呼んで、日本軍に對する國民信條運動ともいふべき民族自覺運動、愛國運動、新生活運動が興つて、いよいよ活潑にタイ人を新らしい國民へと導いてゐる。

タイ人のタイ國とは、要するにアジア人のアジアといふことであつて、アジア人のアジアを建設するためには、どうしても東洋の盟主である日本と手をつないでゆかなければならぬといふのが、ビボン總理、元老たちの意見である。そこでこんどの大東亞戰爭には、わが國と固い同盟を結んで、軍事的、經濟的、政治的あらゆる方面において、アジア人のためのアジア建設に協力してゐるわけである。

の立場から全力をつくして協力するを誓つてゐるのであるが、さうした氣持は一般民衆の感情の上にも如實に現はれてゐる。手近な例をあげるなら、タイ國人たちはわが兵隊の軍規の厳格なことを自覺して、婦人子供に至るまで軍服を敬慕し、皇軍が通過する時には、タイ特産の果實などを山のやうに寄附してくるといふ有様であり、とくにわが傷病兵に對しては、心から看護問し、ビボン總理の夫人まで、自ら先頭に立つて赤十字の活動を鼓吹されるといふ状態である。

また經濟的には、戦前から非常に緊密であつたので、ゴム、錫以外のものはタイ國から求めることができなかつた状態であつたのを、タイ國はあらゆる米英の策動妨害を排して、わが國のために活躍してくれたのである。さうした友情に對して、その後フレイビン、マレーその他が攻められた後でも日本はタイを援助する。例へばタイ國としては、その主なる物産である米をもはや輸出する道は日本よりないのであるから、日本はそれを買取つてタイ國の財政經濟の安定をはかることに努力するといふた相互依存の關係を深くしてゐる次第である。

由來、ビボン總理の理想は、一部のタイ人を親日的なものにするといふやうな小さなものではなく、國民をあけて悉く日本を理解させ、アジア人の運命は、お互ひ同一民族が固く手を握つて立つたものでなければ、決して拓かれないものである、といふことを理解させる方向に國民を指導しようといふのであつて、いまこれを大義になつてやつてゐる。

いはゆるラタニウム運動といふのも、もちろん、さういつた國民指導の現はれである。大體、タイといふ國は南方の有力な佛教國であるところから、非常に戒律を重んずる國である。この戒律に合するやうな生活に、戰時國民生活を持つてゆかうと、形の上からの訓練を非常に嚴格に行つてゐる。これが新生活運動の姿である。そこで正しい姿勢をとる運動を國民に奨励してゐる。さうすることによつて、自然に體操を正しくし、獨立自存意識を涵養するといふところを組つてゐるのである。

國民の經濟生活でも長期戦を戦ひ抜く態勢になり切らねばならぬし、場合によつては非常な窮乏にも堪へねばならぬ。

ならぬかも知れぬが、さういふ場合になつても、體操を正しくして堪へてゆかうといふのである。

また、例の青年運動には、ユワチンといふ青年團體があるが、この運動の如きも、姿を正しくし、精神的訓練を施すといふことに重點を置いてゐる。最近では週末に天幕生活をやつてゐる。これにはビボン總理をはじめ、各大臣が先頭に立ち各省の役人とともに歩いて行つて天幕生活をやつてゐる。また、婦人はできるだけ帽子をかぶらねばならぬ。これは健康の維持から唱道してゐるわけである。それから食事の如きも、不規則な食事はいけない。規則正しい食事を攝らなくてはならない。このやうに形の上での極めて嚴格な訓練が行はれてゐるのである。

しかし、この形の上での訓練は、もちろんこれによつて精神的訓練を行ふのが目的であるが、と同時に、物の考へ方を正してゆく必要がある。そこで教育方面でも、今まで盛んであつた英語教育など、教科書の改訂を行はうとしてゐる。これは必ずしも英語を廢するといふのではないが、英語による英米的な考へ方を改めよう、かういふ方向に進んでゐる。これに反し日本語熱はたいしたもので、バンコクの日本語學校の如きは、今は六百名を越えてゐる盛況で、設備が間に合はないといふ状態である。しかも生徒は現に職業をもつた人が入つてゐるほどである。

これを要するに、今やタイ國は新らしい世界建設戰の第一線に雄々しく躍りで、老いも若きも洗刺しと戦つてゐる。これは決して上からの命令ではなく、國民の内部から猛然と湧き上つてゐる國民の熱情がさうさせてゐるのである。まことに頼もしい限りである。

終りに、この際一言したいことは、目下東京中のタイ國特派使節團は、主席ビヤ・パホン中將はもちろん、各隨員ともタイ國第一流の人たちばかりであつて、従つて同使節團は、タイ國としては最大の禮を以て日本に特派されたのである。この點についても、タイ國の對日親情が如何に深いものであるかが汲みとれるのである。

日本に学ぶ

イタリア國慶祝使節
バビ・ホン中將一行



〇 ようこそ、盟邦の使節―街、街を埋めつくした日タイ兩國族
四月二十八日、一行は千葉縣陸軍野戰砲兵學校を見學、皇軍が誇る近代兵器に感歎した
四月二十七日夕、外務大臣官舎における歓迎晩餐會
〇 外務大臣官舎で催された歓迎晩餐會席上、バビ・ホン中將は「タイ國はできる限りの協力を惜しまない」と力強い答辭を述べた

日タイ友好関係の慶祝使節バビ・ホン中將の一行は、四月二十五日無都入京以來、わが國野を駆けの熱烈な歓迎のうちに各方面を視察中であるが、大東亞の盟主として長期戦下寸分のゆるみもないわが國の雄略は、必ずや多大の感銘を一行に與へたことであらう



〇 五月一日、一行は横濱を訪問、「見敵必殺」のわが海軍魂にふれた。軍艦三笠のブリッジを降りる使節



〇 満々たる砂浜中に展開する對戦軍砲撃戰「ホホウ」と、流石は軍人らしい觀察のバビ・ホン中將、千葉縣下志津原にて





移動の幼稚園

東京市野外
保育奉仕班

「くるくまははは、くるくまはは、ころんちやだめよ、さあ今度は誰のばん」
「もうすぐよ、一寸待つてね。今日はもうこれで五足めよ」

この頃の街の子供は遊びを忘れてゐます。子供同士の連絡のとれた遊びはあまり知つてをりません。それは子供達のより合ふ場所が少いせいだと思ひます。コソをはこんで来て自由にマ、ゴトのできる場所、お相撲のできる場所がどの子供にも與へられたらどんなにいいか知れません。
これは東京市深川區の富岡八幡境内の野外保育練成所に保育奉仕班員として参加された小杉信得さん(市立第一高女卒業生)の感想の一節です。
遊び場といつても日蔭の露路や危い路傍しかないやうな都會地、ことに戦時下、空襲地の利用等で僅かに残されてゐた空地からさへも閉め出された子供達のために、お寺や神社の境内や残された空地を利用して子供達を危険から守り、そこで日本的な情操を培ひ育んで、明日の日本を背負ふにふさはしい



よい子、強い子を育て上げようと、東京市では女學校を卒業して未だ就職をしてゐない人々の協力を得て野外保育奉仕班を組織し、各區の方面館託兒所等と連絡をとりて野外保育練成所を開設しました。明るい春の陽を浴びて、あの子もこの子も大はしやきです。「センセイ、センセイ」そこでもこでもお口を揃へて子供のやうに、可愛い聲が呼んでます。「ハイ」今度はゴッポのお遊戯「水兵服に白エプロンのお姉さんのやうな先生です。春の日ざかり、青さがり、八幡様の廣場では、よい子、強い子大勢が、もつとよい子になるやうに、もつと強い子になれるよに、可愛い先生に手を引かれ、飛んだり跳ねたりしてゐます。きつとよい子になるでせう。きつと強い子になれるでせう。
百五、六十人も集つたこの子供達の樂園には眩しいほどの春の陽が溢れてゐます



で手のられわは和平の國中

前縣趙各莊は模範自衛村だ。村は安居樂業の平和が溷つてゐる。村民一丸の自衛にこの村はかつて一度も八路軍の侵入を許したことはないのだ。『打倒殺人放火的匪』の文字が力強く浮きあがつてゐる



本號からあなたは何か頼んだてせうか。

北支第四次治安强化运动



部族は部落民全體で守ら
うと、河北省察院任各莊
の部落民はトーチカを築
き縣警備隊(中國人)と一
體となつて八路軍の侵入
をふせいでゐる

↑
萬里の長城を背にした英京道密雲縣溪翁莊、この村の平和を亂すものは惡慮な八路軍だ。村民は決然起つて自衛團を組織し鎌を倒つて治安強化に闘つてゐる

華北小站鎮方面から白河
に通ずるクレークに華北
米を満載した船が續く
華北の米は華北で
華一體の増産運動に天津
縣附近だけでも本年度四
十五万石を目標して増産
に拍車をかけてゐる

撮影 北支軍報道部



本報からあなたは何を知りたいですか。

1 わが陸軍部隊に撃滅されたマンダレーの敗北。日本人兵、イギリス兵、聯合兵。英荷合作軍。(8頁)

2 インド洋上を巡行中であつたイギリスのドローゼン號とコングオースト號といふのが遂につかまつて沈められた。これは一甲船隊巡洋艦、航空母艦、空印の金鐘を英本土より遠く輸送した「クーム」を始め英海軍各機動移動部隊本部。(4頁)

3 タイ國の現狀は如何。(16頁)

4 佛印で水産漁獲を増つてゐるのは何故。(17頁)

5 日本は三井物產、安南人の富豪、商業組合、華僑、フランス政府、ユダヤ人の富豪。(14頁)

6 タイ國と國境を接する國を舉げて下さい。(9頁)

7 グラスマス島は何で有名ですか。錫の一大家産。金魚が捕獲。石タナマス用紙の生産地。サンタタロニス嶺の墓碑等。(6頁)

8 マンダレーと切つてみれば關係のあるのは夫々のうちどれでせんアメリカ太平洋艦隊、ザンズ河、アブシス、ウー・カウス、ビルマ・ルト、ジャータライネ。(8頁)

9 われわれが毎日食へる外来品は主として一掃印のサイゴンから。インドのカムカタから。ジャバワのスマバラから。フィリピンのマニラから。(14頁)

10 ガリスマス島はどこにありますか。フィリピン諸島の一つ。インドの東方。ジャバワ島の南方。ニューギニア島の東南方。(6頁)

11 10タイ國で行はれてゐる「バナナム運動」といふのは。貯蓄報國運動。ラジオによる體操運動。活動。新興タイの建設をめざす新生活運動。(16頁)

一週十點としてあなたは何點ですか。

訂正
七號所載

ンドの總面積二五二〇、二九九平方キロ
とあるは四〇七九、二五五平方キロ、セ
イロン島の總面積四〇、七六九平方キロ
とあるは六五、六一〇平方キロの誤りに
つき訂正いたします

敗残の兵器を運ばず
北洋
「そ、その隣
こ、この旗と
つかへてくれ
たのむ」

北洋のほる



二巻 時石 行死決兵空航カリメア 〇

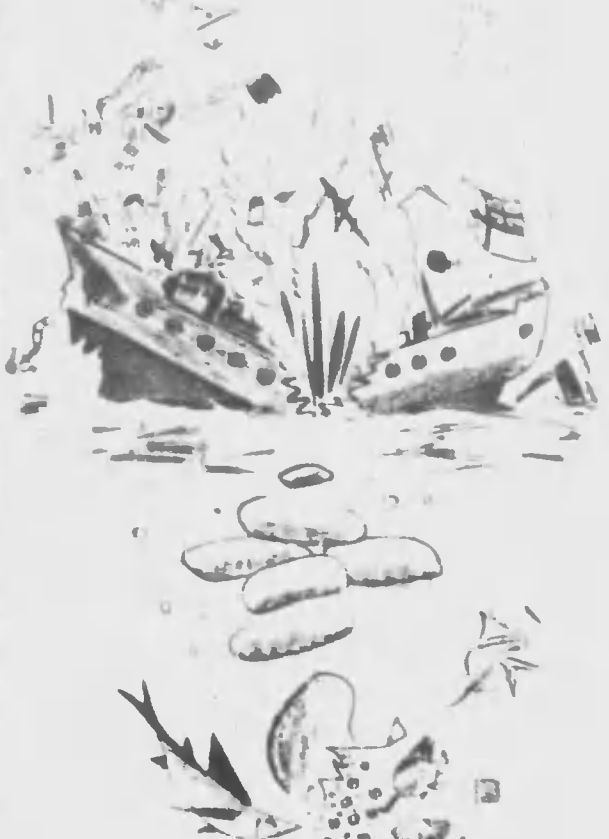


西格子 全機無事歸せり

たしまし行賈をせ合ひしものたか 假同に日給月 〇



久 日川 ルーコス 〇



お魚にも特配
益子書
五月は内地に帰し
いお砂糖の特配だ
が、大東亜海の魚
族諸君にもお相伴
かできました



大東亞戰爭漫筆
石川 進



し積風場行飛羽慶取


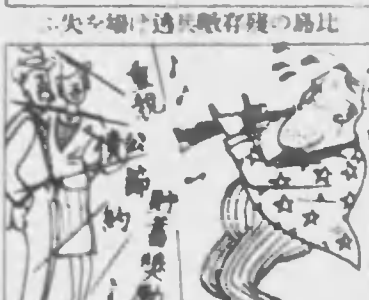


十伏特、4 歐姆印刷





100



所 達 申	價 定
全国各地官報販賣所 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫真材料店	一部十錢（送料一錢） （外國郵送には依り地端） は送料が二部十九錢 一、郵料配送御希望の方は一 部十錢（送料一錢）の割 合を以て郵金を添へ御申 込み下さい 二、特大版の場合は其の都度 御精達金より差額を申受 けます

寫真週報（第廿號）

昭和十七年五月十三日印刷發行

編輯者 情報局

東京市神田區
水田町一丁目

印刷者 內閣印刷局

發行所 同上

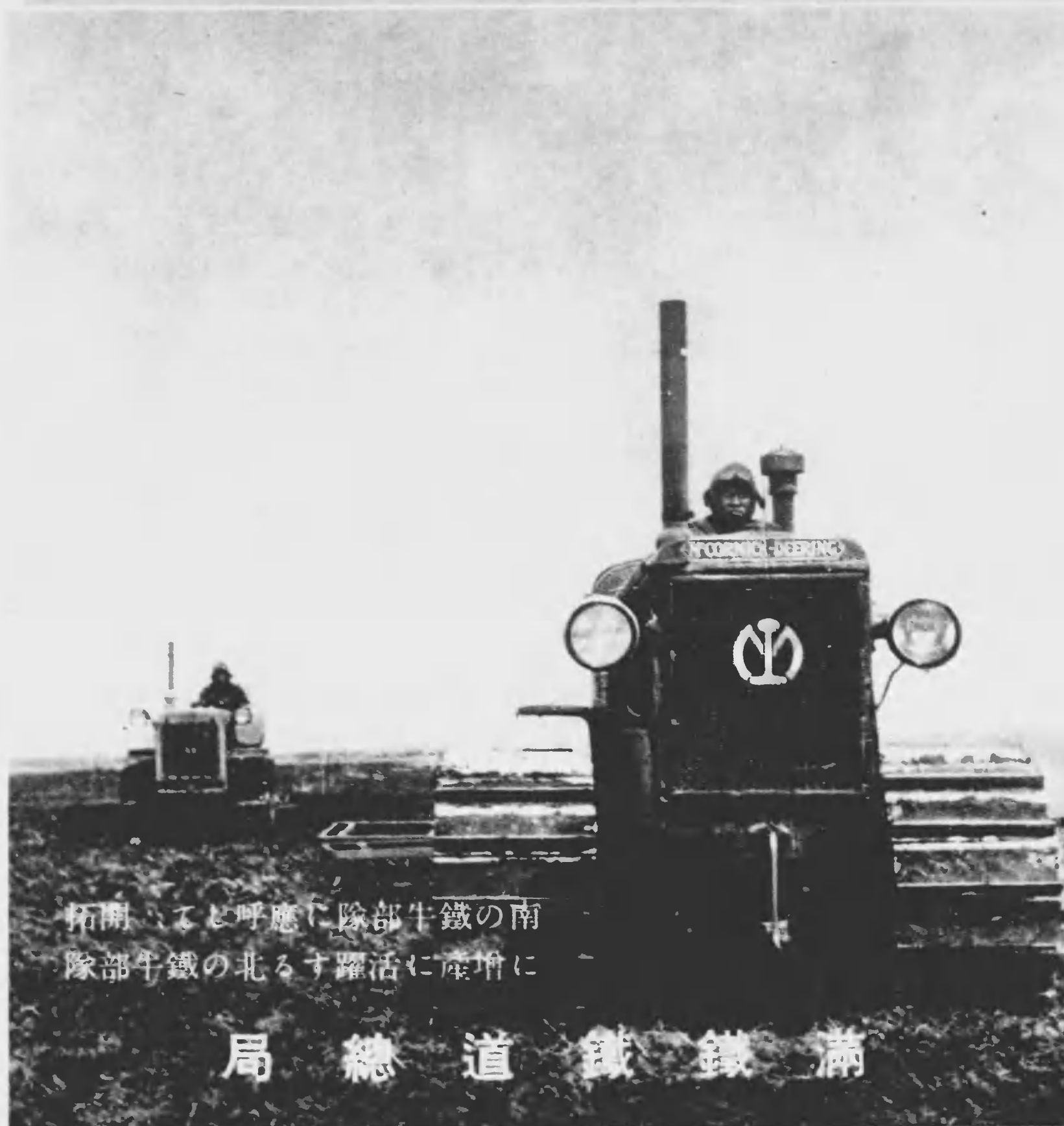
あ、甘露々々、この味は内
地におちやあ一寸味はへない
な、おいしくつちへもよこ
せよ。したいやうな續の
本陣から提閣なきわけきが聞
える。ミンダナ島(フィリ
ピン)のわが勇士達は天國の
水筒、椰子の實に水を酌し、
次の行動への英気を養ふのだ

十丁上職所を授けしむる
事とし、其後、同族で
あるひは同族として
同一門下には、
歟

写真週報 昭和十一年 十月十日 第三千九百九十四号 毎週日曜 毎冊 四角 小冊子 刊行 五円

建國十周年

興亞の據卓大満洲



拓開して呼應に隊部牛鐵の南
隊部牛鐵の北るす躍活に産増に

滿鐵鐵道總局

内閣印刷局印刷發行

(内閣印刷局印刷發行)